

**主体的に学ぶ生徒の育成～学習マネジメント力を高める実践～**

今回は、生徒の学習マネジメント力の育成に重点を置いた取組を行っている東脊振中学校の伊東校長先生と吉田教諭にインタビューをしてきました。その中で、「家庭学習の充実」に焦点を当てて報告します。

**東脊振中学校の取組の内容**

**家庭学習を充実させることを通して  
「自立(自律)した学習者」を育てる取組**

**「学習マネジメント力」を身に付ける取組**

- ① 長期的なビジョンを明確にする
- ② 長期的なビジョンを踏まえ、短期的なビジョンを描く。
- ③ 計画を立て、実行する。



【吉田教諭】 【伊東校長先生】

**「家庭学習の充実」の鍵は  
「学習マネジメント力」**

①長期的なビジョンを明確にする。

■「夢をかなえる地図」

- ・1年間の学校生活の中で身に付けたい力を「宝箱(「夢」や目標を設定する力、振り返る力、やり抜く力、時間を管理する力、計画する力)」から選び、年間目標を立てる。
- ・各学期末に「振り返りグラフ」の記入を通して、目標等を修正し、次のステップへ向かう。

実行する意味や意義

②長期的なビジョンを踏まえ、短期的なビジョンを描く。

■「夢に近づく第一歩」

- ・テストに向かって目標を立てて計画し、勉強し、その結果を振り返る活動に取り組むことで、「(夢に)向かう力(プランニング力)」、「見つめる力(振り返る力)」を身に付ける。

※保護者や家庭と連携して取り組み、保護者からの激励のひと言欄の言葉が生徒のやる気につながる。

■「ナビゲーションシート」

- ・教師が作成した「テスト範囲」や「テスト学習攻略リスト」、「攻略メモ」等を基に、生徒が重点的に学習する項目を自己分析し、生徒用ビジネス手帳に学習計画を記入する。

③ 計画を立て、実行する。

■「生徒用ビジネス手帳」

- ・日々の生活や振り返りの記録を行う。
- ・時間割、生活の予定と実行、目標と振り返り等の情報が集約されている。

伊東校長先生・吉田教諭へインタビュー

**Q1 学力向上に向けた取組について、どのようなことを意識されていますか。**

A1 「基礎学力を身に付け、かつ主体的に学ぶ生徒」を育てるための土台になるものは「**学習マネジメント力**」であるととらえています。生徒が「学習マネジメント力」を身に付けるために、1年間の学校生活で身に付けたい力を設定し、その力を意識しながら日々の学習やテスト前の勉強を行うことができるようにしています。大切なことは**夢を叶えるための明確なビジョン**づくりです。

**Q2 どのような取組が行われていますか。**

A2 生徒自ら夢や目標を掲げ、振り返りしながら取組の改善をしていくことで、**自己調整力やマネジメント力の育成**を図っています。子どもたちに任せ、教師はそれを支えるようにしています。

**Q3 どのような成果がありましたか。**

A3 この取組を行って2年になります。生徒の学習マネジメント力が身に付いてきており、年々家庭学習に取り組む割合が高くなっています。また、アンケート調査において、夢や希望をもっている生徒が増えてきていることも大きな成果です。

# 東脊振中学校の取組で使われている資料等

**「夢をかなえる地図」** 年間を通しての目標や伸ばしたい力を設定し、各学期末及び学年末に成果と課題を記していく。



**東脊振中学校の取組については、直接学校までお問合せください。**

「もっと東脊振中学校の取組を知りたい!」と思われる場合は、伊東校長先生に直接お尋ねください。

TEL (0952-52-2529)

mail アドレス (ito-koichiro@education.saga.jp)

**「夢に近づく第1歩」** テストの目標を記入する。

**「ナビゲーションシート」** テスト範囲等を記入し、個人のプランニングを補助する。

**「生徒用ビジネス手帳」** PDCA サイクルを回す。